



豊川市議会議員

二村たか子からのお知らせ

まちの声

豊川市赤坂町紅里26 電話 87-4453 FAX 87-3937

ホームページ <http://7jigen.com/futamura/>

期待はむなく消える

ツマグロヒョウモンという蝶は中型のアゲハ蝶の一種で、オレンジに黒のコントラストが鮮やかです。幼虫の毛虫はスミレの葉が好物です。優雅に舞う姿が観たくて毎年パンジーやスミレを育てています。今年も毛虫が姿を消した頃、花壇柵の支柱の下や石影で21個のサナギを発見、“今年は蝶に変身する姿が観られるかも”と期待して観察を続けた。しかし自然は無情、目を離れた隙に抜け殻となっていました。我が家の小さな生物多様性の話。



6月議会の主な内容

○補正予算について

1. 新市民病院用の道路整備費16億4,467万円が承認されました。

補正予算の中の新市民病院用地の㎡単価について質問

準工業地域・・・不動産鑑定評価額・・・52,500円 買収価格・・・51,800円

工業地域・・・不動産鑑定評価額・・・35,800円 買収価格・・・35,100円

合計・・・26億600万円

2. エコエネルギーで、分権改革推進事業費1億3,500万円(太陽光、風力発電などの実証実験)
3. 高齢者に取り扱い容易な機能をつけた携帯電話を開発し、80歳以上の1,000人に配布し、利用してもらうことで通信機器の利用拡大つなげる。2億3,975万円

○条例の一部改正

- ・ パパの育児休業を応援する改正・・・休業しても50%の賃金支給
2ヶ月間はパパの育休の月
- ・ 国民健康保険の改正・・・やむをえない理由で失業したとき負担の軽減、100分の30
・・・保険料の課税上限が変わりました。
医療給付費分の基礎賦課額・・・47万円から50万円に
後期高齢者支援金の賦課額・・・12万円から13万円に

○新市民病院建設の説明会が各地で始まっています。

平成23年度から建設工事を始め20ヶ月の予定です。

24年度後半から開院準備を始め、25年5月の連休中に引越し、開院の予定です。

休日夜間急病診療所の新病院への併設は、用地の確保はできるが、ということで宙に浮いたままです。現在の豊川市の休日夜間急病診療所はもう数年で建て替時期がきます、いずれも市の税金で運営することなので進むよう提案していきたいと考えます。

二村の一般質問

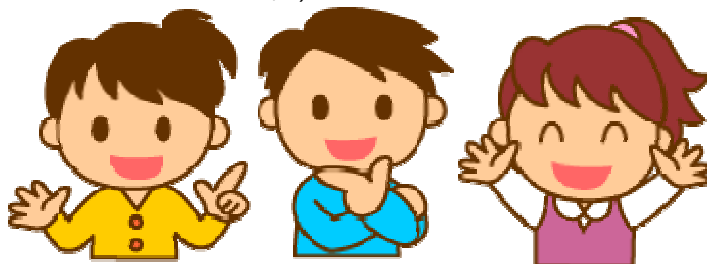
■ 住みたいと思う豊川市にするために行政と住民との協働をすすめたい。

Q: 市長はまちづくりのために町内会の活性化に力を入れている。住民の要望は多岐、税収のみでサービスを賄うには限界がある。そのような状況下で地域の活性化を進めるためには住民が主体となった活動の展開が必要と考える。市民の中には多彩な能力や技術を持っている方が大勢いる。市民との協働の仕組みや、ボランティアな活動をしている人々同士が連携を取る組織の育成は、先進自治体比べもどかしいものを感じる。課題と目標は

A: 市民活動団体が行政や企業と共に役割分担を担うことで、社会サービスが向上し、多くの市民がまちづくりに参加するいきいきとしたまちを創造することを目指す。課題としては、市民活動に参加している人は増えているのに、参加意識が減少していることがある。これを解消するには、参加するきっかけ作りや情報を多く提供すること、若い世代が気軽に参加できる機会の提供が必要と考える。

Q: 行政と市民との協働を進めるための今年の予算はいくらか、また、県内同規模の安城市と比較すると

A: 予算の全体枠は1,204万円、内訳で主だった事業費はNPOスキルアップ講座に467万7千円。市民と企業が協働で行う事業の支援とユニフォームの補助代で230万円。安城市は4943万6千円。(二村の見解・今後の展開に目を光らせる。)



Q: 旧音羽町で始めた公園や河川などの草刈や掃除などのアダプトプログラムは協働の事業として評価しやすい、現状はどのようになっている、今後の課題は

A: 22年度は21年度より10団体、257人の増で61団体1,231人の登録。推進費としてゴミ袋や軍手、標識設置で241万円かかりましたが、活動時間を最低賃金で計算して1,500万円分の費用が浮いたことになる。継続した活動をしていただくためにもFM豊橋でPRしていただいたようにさらにPRをして魅力あるアダプトプログラムにしていきたい。

Q: 穂の国まちづくりネットの活動を立ち上げ当時から見てきた。社会福祉協議会のボランティアセンターと統合した後の活動内容がよくわからない。市は協働の核になるこの組織をどのように考えているのか

A: ボランティア・市民活動センターの設置、あるいは社会福祉協議会への委託の経緯も踏まえ、場所、規模、機能、委託先等、再検証する必要がある。ウイズ豊川から分離し、別の場所で、社会福祉協議会以外の団体への委託も含めて検討の必要があると考えている。

Q: 市全体のボランティア育成のためには穂の国ネットだけでなく中間支援のNPOの育成は欠かせないこのための企画は

A: 早急な育成計画は無いが、穂の国ネットとの連携を強化する中で、第二、第三の中間支援団体の育成につなげたい。

Q: 宮路山愛護会がドウダンツツジの保存のために活躍している。周りの大木が育成に悪影響があるのではと市に相談している。このような問題解決も協働できる一つの提案と思うが見解は

A: 三河湾国定公園にあるため樹木の伐採には制限がかかっていることと、ツツジの保護のため適度な高木は必要とのことでした。今後も提案には生活活性課が窓口として対応をしていく。

落札率43・46% (総額2億3,509万円)について質問

デジタル同報無線整備事業(旧市内では整備されていなかったため予算化されたもの)の工事費を日本電気株式会社(東海支社)が落札した。、

Q: 入札の経緯

A: 制限付一般競争入札に4社が応札
・応札時の予定価格は5億1524万円、
・調査基準価格は3億4521万1千円、
・応札では市場調査基準価格を下回った価格が3社あった

Q: 低価格入札の対象となるがその対応と下請け業者への配慮は

A: 1、事業費の半分以上を占める機器費については既存の自社製品があり、設計、製造コストを大幅に削減できること
2、労務費は短い工期の間に自社の技術者を効率的に配置ができる事
3、従業員下請け等への適正な支払いや十分な安全対策の確保を明言しており、事業所側も最低限の利益が確保できると回答があった。



読者から「まちの声」に投稿

山形県の田舎町での防犯協会役員の話

女兒誘拐事件に端を発し、通学路の点検結果を行政に届けようとした時、ある父親が「行政の判断を待っていて良いような防犯灯ならいらぬのでは、子どもや住民のためを思うなら一刻も早く、自分たちの力でも何とかできるのでは」。一瞬の沈黙の後「確かにそのとおりだ」の声で、翌日から行動開始、全住民の寄付と行政の補助で2週間後には工事に入り防犯灯はついた。…これを契機に住民同士のつながりがとても良くなったということです……

豊川ごみ減らし隊……

“ゴミを1割減らそう”行政・市民・商業者・と豊橋技術大学の先生、そして生徒さんたちが一体となって知恵を絞っています。しかし、減量の最大の鍵は私たち市民の一人ひとりの心がけ次第です。

(清掃事業課エコプロジェクトより)

軽トラック16杯分の作業(枝払いと草刈)



長沢町の老人会が小学校や保育園の樹木の枝払いや、草刈の奉仕をしました。この姿は次世代の子どもたちの心に残り長沢区の活力になるでしょう。もう老人会と呼ばずに「喜楽会」でいこう！という話になっているそうです。その名の通りのみなさんの笑顔をパチリ。



開発ビルをどうする、皆さんのご意見は



諏訪地区のアピタと呼ばれているビルは、おしゃれなファッション店と食品スーパーとが同居した地域活性の核としての役割を担い、創業当初は多くの来客で賑わっていた。更なる活性化を目指してプリオを建設、しかし、巨大な商業施設サティは新たな客の流れを作っていた。これが開発ビルに入店している商業施設を衰退させてしまった原因と考える。撤退するユニーの代わりのスーパーマーケットが入る話はまとまっているものの賃借料の大幅減が予測されている。市は経営をどのように成り立たせようとしているのか見えてこない。固定負債は今33億8千万円です。財政健全化は市に任せるだけでなく議員も責任を負うべきであると考えます。今のままでよいのか、新たな改善策を模索すべきではないのか、または原点に戻って開発ビルのあり方論からはじめる時なのか、皆さんのご意見をお聞かせください。

行政視察

埼玉県 深谷市

二村良子



深谷駅と駅前ガーデン

埼玉県深谷市の支所機能の見直し

- 1) 合併後旧3町にあった総合支所機能7課を総務課・税務課・福祉健康課に削減したが窓口対応は比較的少ない部署で住民からの苦情は出なかった。この削減に対し市民の意向調査は未実施
- 2) 削減に関しては本庁への意向を段階的に行っているが、常に行財政の効率化と市民サービスとのバランスを考えながら進めている。見直しに当っては財政削減を優先しての経営的管理の見方は厳禁、行政財産の目的と所管課の意見への配慮を優先させている。

プラスチックゴミはリサイクルより燃やして電力源にするほうがとく

3月の議会でゴミ収集・焼却費削減の質問で、資源回収費削減の方法を提案しましたが現状を維持するとの答えでした。新たな費用削減に関するヒントを新聞記事より得ましたので、その内容を紹介します。
「中央環境審議会 廃棄物リサイクル部会長 加藤勝氏の意見」

プラスチックゴミは燃やせ、リサイクルより燃料として発電に利用するほうが効果的、家庭から資源ゴミとして出された容器包装のプラスチックだけ回収し、リサイクル施設に運び、粉碎・洗浄して再生するには多くのエネルギー消費、高コストの原因となっていて二酸化炭素の排出量の削減に寄与しているとは思えない。高いコストをかけ生成するよりも再生エネルギーとして活用するほうが効率的で、欧米諸国ではすでに実践されている。

(7月24日付け朝日新聞記事より抜粋)



ご意見をお寄せ下さい。市政に関することなど、皆さんの声も掲載したく思います。

電話87-4453 FAX87-3937 まで

後援会ご入会の案内

ふたむら たかこ

「二村たか子を囲む会」は地域の情報交換や市政への提言、夢のあるまちづくりなど自由闊達に話し合う会合を毎月開催しています。ご参加をお待ちしています。

次回会合日 5月10日(月)二村宅にて午後7時

ご入会の連絡先 豊川市赤坂町紅里26 電話87-4453 FAX87-3937

